



後輩に伝えたい思い

1月27日に生徒議会が開かれました。3年生にとっては最終の生徒議会です。その最後に3年生が4人、「後輩の皆さんに伝えたい」と話をしてくれました。どの人の話も内容が素晴らしく、全校の皆さんにも知って欲しいと思いました。

「勉強について」

私からは勉強について話します。私が勉強について伝えたいことは2つあります。

1つ目は、宿題ややらなければならないことを後回しにしないことです。私も以前は色々と後回しにできてしまっていました。ですが、定着度が悪いと思って、優先順位をつけて今やるべきことは何かを決めています。特に受験期になると、やるが多すぎてどうすればいいかわからなくなるので、そういうときこそ、優先度が高いものからつぶしていけばいいと思っています。

2つ目は、時間は限られているということです。受験生になってからの時間の流れは信じられないくらい早いです。時間の使い方をまちがえてしまうと、必ず後で後悔します。また、3年生になってから復習する時間は思っているようありません。私は1、2年生の頃から授業を受けたときに復習をし、苦手科目は毎日少しでも取り組み、早めに克服しておけばよかったと思っています。

時間だけはみんなが平等に与えられたものなので、よく考えて使うべきだと思います。今私が話したことが少しでもみなさんのためになればと思っています。ありがとうございました。

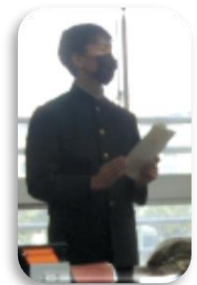


「クラブについて」

僕からは、部活について2つ、僕の経験をもとにお話しします。

1つ目は、部活としての目標の確認です。僕がいた部活では、3年生に入ったときちゃんと練習して試合に勝ちたい派と、別に運動するために部活に入ったから(勝敗にはこだわらない)派の2つに分かれてしまいました。目標や意識の差によって部活が分裂していったのです。最後までみんなで部活をがんばりたいのであれば、部活としての目標を1度確認してみるといいと思います。

2つ目は、悩み事をためすぎないことです。先程話したように、僕が部長をやっていた部活は、3年になって分裂してしまいました。何とか元に戻せないかと1人で考えていても、頭の中に悪いことばかり浮かんでしまい、完全にマイナスな方向に考えてしまっていました。ですが、他の部員に相談したら別の視点からの変えられる点などが色々出てきて、自分1人だけのときは考え方が大きく変わりました。もし悩みごとができたなら、なるべく早くだれかと共有するようにしてみてください。



これから引退まで半年もないクラブが多いと思います。後悔が残らず「やり切れた」と言えるように最後まで頑張ってください。

「クラ代をやってきて」

僕からは、クラス代表をやってきてという内容にしぼって話をさせてもらいます。

僕たち42期クラス代表は、今日で最後の生徒議会になります。なのでこの先、十五中を引っ張っていくのは1、2年生の中でも特にここにいる生徒議会のメンバーになると思います。“みんなを引っ張る”とは何なのか。それが何なのかは正直僕たちにも分かりませんが、クラス代表をやっていく中で思ったのは、“仲間との協力を大切にしたい”というものです。

クラス代表をやる時、「どうやったらみんなを引っ張っていけるかな？」と自分中心なことばかり考えて取り組むと大抵失敗しました。でも「どうやったらみんなと協力することができるかな？」とみんなと一緒に何かをするという思いで取り組むと自然とうまくいくことが多かったです。“みんなを引っ張る”とは、きっと人と人をつなぐきっかけをつくることであり、それがクラス代表の役割なんじゃないかなと僕は思っています。もちろんこれだけが正解だと思っているわけではないですが、これから十五中を引っ張っていくみなさんにこういう考え方もあるんだなと思ってもらえたらいいなと思っています。



「卒業に向けて」

もう少しで卒業が近づいてきている僕たちなんですけど、1年生と2年生のみなさんに僕から1つだけ伝えたいことがあります。

それは“みんなと過ごす時間を大切にすること”です。

受験が近づくにつれて、友達と遊びに行ったり、家族と旅行に行ったりとかができなくなってしまう。だからこそ、今よりもっと、友達やクラスの人、家族と関わる時間を増やしておけばよかったと思うし、1、2年生には、そういった時間を増やしてほしいなあと思っています。正直受験勉強はしんどいことがたくさんあります。でもしんどいことも、これまで大切な人と過ごした時間があるから自分の力以上に頑張ることができていると今となっては感じています。

そして僕たち42期生の最期の学年スローガンは、“笑って卒業”です。学校に登校する日は、あと30日程度しかありませんが、3月14日 卒業の日を42期生みんなが“笑顔”で迎えることができるよう、僕たちも残されたみんなと過ごす時間を大切にしていきたいと考えています。



お父ちゃんの会の思い

お父ちゃんの会は、平成3年度(1991年度)に結成されました。その年受験を控えた3年生に応援の気持ちを込めて皆さんで餅をついて配られました。その後ご自身のお子さんが卒業された後もずっと十五中の卒業生にと毎年毎年配ってくださっているのです。今年で32回目となりました。



3年前からは新型コロナが流行したため、お餅をつくことができなくなりましたが、これまで同様に卒業生に励ましの気持ちを贈りたいと、偉人の名言集の本から冊子を作り、PTAの方や先生と一緒に八坂神社で合格祈願のお祓いをしていただきました。1月30日の終礼時にお父ちゃんの会の皆さんが3年生の各教室でその思いを語ってくださり冊子が配られました。しっかりかみしめて読んで欲しいと思います。1, 2年生の皆さんも興味がある人は貸しますので校長室にきてください。

2年生合唱コンクール

1月30日、2年生の合唱コンクールが開かれました。どのクラスの合唱もとても良かったです。2年生になると変声期も過ぎるためか、男の子の声がよく出ていたのが印象的でした。その前週には学級休業になったクラスもあり、マスクをして隣りの人と間隔をあけた合唱は本当に大変だったと思います。保護者の皆さまも合唱コンクールの取り組みを応援していただいて有難うございました。



1年生人権学習

2月1日、1年生は講師の先生をお迎えして性の多様性についてのお話を伺いました。たくさんの人の中には、生まれつきの身体の性と自分自身が心で思う性が異なる人や、同じ性の人を好きになる人もおられます。

その方は、女性の身体と男性の心を持っておられます。そのため、幼い時から着る服に違和感があり、トイレもどちらに入ればよいか等々悩まれたと話してくれました。そして、何よりも強調されていたのは「みんなと違った人がいても、差別しないで受け入れて欲しい」ということでした。例えば、小学生の時にサッカークラブに入った時1人だけが「女子」なので茶化されて笑われた。でも一人の男の子だけはサッカーをやりたいという気持ちに寄り添ってくれて、一緒に練習につきあってくれた。また、小学校の卒業式の時に女の子が着るような服は着たくなくて、思い切って男子用のスーツを着たけれど「カッコいい」とみんなが認めてくれ嬉しかった、と話してくれました。

皆さんの中には、他の多くの人との違いを持つ人を避けたり、みんなと同じであることを強要したりする空気はありませんか。その空気は差別につながっていく危険がある空気です。肌の色、身体障害、病気、学習障害、経済的な貧しさ、国籍やルーツ、出身地、、。自分ではどうしようもないことで差別的な扱いを受けるということは絶対にあってはならないことです。みんなが居心地の良い学校にみんなの力でいきましょう。



15 中学生の善行

1月最後の金曜日に、またまた嬉しいお電話をいただきました。その日強風が吹き、マンションのベランダに干していたものが下に落ちてしまったそうなのです。すると、ちょ

うど下を通りかかった中学生の男の子がそれをわざわざ上まで持って上がってくれて、とても嬉しかった、ということでした。

週明けの月曜日に各クラス担任の先生に聞いてもらおうと、2年4組のNくとわかりました。それを翌朝の職員朝礼で発表すると先生方も感心しておられました。今年度は何度もこのような報告ができて何だか誇らしい気持ちになりますね。

学校運営協議会のお知らせ

第十五中学校は昨年度から豊中市初のコミュニティスクールとして、地域の方々と共に教育活動や地域との協働について協議しています。年3回の協議会を持ちます。5月20日、11月18日に続き、今回は第3回のご案内です。

第3回協議会では学校教育自己診断の結果やいちごフェスタの運営体制についてご検討いただく予定です。傍聴をご希望の方がありましたら、下記によりお申込みください。

記

第3回学校運営協議会 傍聴のご案内

- 1 日時 令和5年(2023年) 2月17日(金) 18:30~
- 2 場所 豊中市立第十五中学校 多目的室

3 申し込み方法

- ① 右のQRコードを読み取り、申し込みフォームに必要事項を入力し送信する。
または
- ② 電話で申し込む(教頭までお電話ください)。



※申し込みの際にいただく個人情報は、今回の学校運営協議会のためだけに使用し、第三者に提供することはありません。

- 4 申し込み期日 2月15日(水)
- 5 傍聴は10名までとし、申し込みが定数を超えましたら抽選にて決定いたします。(お申し込み後、連絡のない場合はそのままお越しください)

問合わせ先 教頭 安田
Tel 06-6848-6761